

認知症に優しいまちづくりを目指して

～認知症を正しく理解し、チームオレンジ活動をしませんか～

「もしも、親や配偶者、また自分自身が認知症になったらどうしよう…」とそんな不安を感じたことはありませんか？

町や笠松町地域包括支援センターでは、皆さんの協力を頂きながら一人ひとりが認知症を正しく理解すること、暮らしの中で無理なく出来る「声掛け」や「サポート」を行うことなど、「地域のつながり」を支援しています。

一人ひとりの活動から仲間の輪が広がり、仲間がチームを組んで見守り活動を行うことを「チームオレンジ」といい、認知症に優しいまちづくりには不可欠な活動です。

■チームオレンジの活動



①認知症サポーター養成講座を受講しましょう

認知症を正しく理解することは、「本人の不安を理解する」「接し方を理解する」ことにつながります。認知症サポーターになることは、認知症の人や家族の応援団となるチームオレンジの活動の第一歩です。

対象者	町民の方をはじめ、企業・団体・学校の方など日ごろ町内で活動する方
開催状況	町民の方向けの講座を年に数回開催しています。 企業・団体・学校から依頼がある場合は随時開催します。
問合せ先	笠松町地域包括支援センター ☎388-7133

②「チームオレンジ」で無理なくできるサポーター活動

認知症サポーター養成講座に参加した後、認知症の人の希望や困りごとに応じて活動します。チームを組むことでより広く見守る体制を作ります。

また、フォローアップ講座を受講し改めて認知症の方の対応方法などを学び、チームオレンジ活動に活かします。

【現在のサポーター活動の紹介】

- ①ふれあい喫茶（認知症カフェ）で、会話を通して楽しいひと時を過ごします。
- ②あんしんかさまつメール（認知症サポートグループ）に登録し行き先不明者の情報を受信した後、生活の範囲で気にかけて、その人らしき人を見かけたら声掛けを行います。
- ③認知症サポーター養成講座を受講した小学生などに配布する「ロバ隊長のストラップ」を一緒に製作します。

■見守りSOSステッカーを活用しましょう

認知症の方がいるご家族にとって、徘徊による行き先不明の不安は大きく尽きません。

登録番号の入った「見守りSOSステッカー」により岐阜羽鳥警察署などの関係機関と連携し、早期発見・保護とスムーズな帰宅を支援していますので、ご活用ください。

対象者	町内に住所があり在宅で生活している方で、介護保険主治医意見書で認知症自立度Ⅱa以上の方
ステッカーの使い方	ステッカーを30枚お渡ししますので、衣服・杖などの対象者の身の回りの物に貼ってください。対象者が保護された場合に、警察署から登録された連絡先に連絡が入ります。
申込先	健康介護課 ☎388-7171

■一人で悩まず相談しましょう

認知症の始まりは家族が気付くことが少なくありません。以下のようなことが以前に比べ少しずつ頻度が多くなってきたと感じた時は、相談しましょう。状況に応じて医師や看護師、社会福祉士などの専門家による「認知症初期集中チーム」と協働して対応します。

- ・運転などにミスが多くなり修理することが増えたかな
- ・身だしなみを構わなくなったかな
- ・調理や片付けが出来なくなってきたかな
- ・外出が減ったかな など

相談先	笠松町地域包括支援センター ☎388-7133	健康介護課 ☎388-7171
-----	-------------------------	-----------------